

映寿会みらい病院の環境行動計画

平成23年6月16日

1. 基本方針

環境基本理念

映寿会みらい病院では、人が心身ともに長生きできるような手助けを行っていくことを旨に、医療事業を行っていますが、その一環として、今後、環境保全活動にも積極的に取り組み、将来世代への住みよい社会と豊かな自然を引き継ぐための一助を担っていきたいと考えています。

環境行動指針

私たちは、事業活動によって環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組みます。

- ①自らグリーン製品の使用し、その提案、普及にも努めます。
- ②省エネ機器により、地球温暖化防止に努めます。
- ③廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ④資源の有効な利用を図ります。

この方針にそって、全ての職員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、院内の制度を整備します。

平成23年6月16日
医療法人社団映寿会
理事長 北元喜洋

4. 環境負荷低減の取組

平成25年度期末に向けて、各環境負荷について低減をすべく、次のとおり、目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行って参ります。

【目標1】 二酸化炭素排出量を5%削減する

エネルギー		使用量		二酸化炭素排出係数	二酸化炭素排出量		
購入電力		1,490,000	kwh	0.56	① 834,400	Kg-CO2	
燃料	灯油	935	L	2.5	2,338	Kg-CO2	
	A重油	0	L	2.7	0	Kg-CO2	
	都市ガス	9,400	m ³	2.1	19,740	Kg-CO2	
	LPガス	0	m ³	6.2	0	Kg-CO2	
	燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量				②	22,078	Kg-CO2
自動車燃料	ガソリン	7,100	L	2.3	16,330	Kg-CO2	
	軽油	0	L	2.6	0	Kg-CO2	
	自動車燃料使用に伴う二酸化炭素排出量				③	16,330	Kg-CO2
二酸化炭素排出量の合計					④	872,808	Kg-CO2
活動規模単位当たりの二酸化炭素排出量		総事業収入当たり			638	Kg-CO2/ 百万円	
		職員一人当たり			4,849	Kg-CO2/人	

■方法論

①節電によって消費電力を低減する

- ・ 使用していない部屋の照明はこまめに消灯する
- ・ 少人数での部屋利用を避ける
- ・ 昼休み時の事務所における照明の消灯を徹底する
- ・ LED照明への切り替えを行っていく
- ・ 変圧器を高効率のものへ置換する
- ・ 窓ガラスに遮光を施し空調の使用を低減する
- ・ 空調フィルターの清掃を定期化する

②燃料の使用量を低減する

- ・ LPガスを都市ガスに切り替える
- ・ 厨房施設における作業の効率化を図る

③自動車燃料の使用量を低減する

- ・ ディーゼル車を廃車する
- ・ 低燃費車量への買換えを行う
- ・ 省エネ運転を徹底する

【目標2】 水、紙の使用量を5%削減する

資源の種別		利用量		
水	水道水	481	m ³	
	地下水	21,000	m ³	
	水使用量の合計	21,481	m ³	
	事業規模当たりの水使用量	事業収入当たり	16	m ³ /百万円
		職員一人当たり	119	m ³ /人
紙	A ⁴ -用紙(古紙配合率0%) ※1枚当たり4.2g	450,000	枚	
		1,890,000	kg	
	紙使用量の合計	1,890,000	kg	
	事業規模当たりの水使用量	事業収入当たり	1,383	kg/百万円
		職員一人当たり	10,500	kg/人

■方法論

- ①水の使用量を低減する
 - ・流しっぱなしを避ける
 - ・雨水を利用する
- ②紙の使用量を低減する
 - ・両面印刷、両面A⁴-を徹底する
 - ・使用済み用紙の裏面を利用する
 - ・書類の電子化を進める

【目標3】 産業廃棄物の排出量の把握と低減の計画を行う

■方法論

- ①詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する
- ②シュレッダ[®]-使用を機密文書に限る

【目標4】 危険物・洗剤の安全管理を徹底する

■方法論

- ①危険物、洗剤等を取り扱う職員に対して定期的な教育を行う
- ②危険物、洗剤等を取り扱い記録を電子化する

5. 環境行動計画の実施体制

(1) 組織 委員長:理事長 運営責任者:北陸保健衛生研究所担当者
委員:院長、看護師長、薬剤部長、事務長、施設課長

(2) 運営方針

四半期ごとに1回の委員会を行い、目標に対する進捗状況の確認と評価をし、改善を要する場合にあっては、次の対策を講じるものとする。